

地域生活支援拠点に関する自立支援協議会等の検討スケジュール

● 整備開始の2年前

自立支援協議会運営会議にて地域課題の分析から、地域生活支援拠点の検討の必要性を確認(緊急時の対応を中心)

⇒ 専門チーム「地域生活支援拠点チーム」立ち上げへ

● 整備開始の1年前

4月: 第1回「地域生活支援拠点チーム」開催

- ・ 地域生活支援拠点の理解
- ・ ニーズ調査の検討(障害福祉計画策定に係るアンケートなどを活用)
- ・ 緊急対応した事例・緊急対応が想定される事例の収集 等

6月: 第2回「地域生活支援拠点チーム」開催

- ・ ★★市(町村)での地域生活支援拠点の検討状況の共有
 - ・ ★★市(町村)での今後の検討内容・スケジュール等の共有
 - ・ 今後の検討のために必要なこと、押さえるべきことの確認
 - ・ 今後の検討事項、整備の具体的な進め方、スケジュール等の検討
- ⇒ 具体的検討の中心メンバー・事務局・行政が今後の見通しを持つことが重要

8月: アンケート等の分析(障がいのある方のニーズ分析等)

10月: ★★市版地域生活支援拠点に必要な機能

- ・ 足りない資源の洗い出し → 実現させるために必要なことの洗い出し

12月: 具体化

- ・ 実現させるために必要な事項について具体的な検討を進めるための方法等の協議(運用ですぐにできること、支給決定基準の変更のようにある程度の検討期間が必要なこと、新規サービスの創設のように税源確保などを要するものを峻別)

2月: 「すぐできること」とされた内容について、試行するための協議

- ・ 整備開始年度より一部機能を試行へ

● 整備開始年度

地域生活支援拠点チームの下部会議(ワーキングチーム・WT)の創設

- ・ 「ショートステイ」、「ヘルパー」、「相談支援」、「グループホーム・入所施設」「医療的ケア」など、課題別のWTを創設し、具体的な検討および合意形成を進める
- ・ WTの検討状況は、地域生活支援拠点チームへ報告し、共有する

全体的な取りまとめと提案

- ・ WTでの議論、地域生活支援拠点チームでの議論も踏まえ、★★市版地域生活支援拠点の全体的な仕組みについて提案

⇒ 整備手法に関わらず、★★市が責任をもって提案の実現を目指すことが重要